



ぶらり小篠原

～郷土のよさを再発見!～

11月7日

昔から野洲の中心地であった「小篠原」には魅力あるものがいっぱいあります。今回は、学校運営協議会の会長の案内で小篠原の歴史を学びながら、中山道を歩いて回りました。

野洲小学校を出てすぐに「外和木の^{そとわき}
^{しるべ}標」があります。これは中山道と江戸時代に朝鮮の外交使節を迎えた朝鮮人街道の分岐点にあたる歴史的に意義深い場所だということがわかりました。

少し歩くと明治32年から続く「ワシダ農園」があり、大正時代の店舗や街道の様子を見せてもらいました。

「養専寺」では、樹齢 550 年以上のイチヨウの木に出迎えられ、歴史の重みを感じました。

また、「藍染」をされている森さんを訪ね、長く続いている伝統工業の素晴らしさにふれました。参加者全員がもっと多くの人に小篠原のすばらしさを知ってもらいたいという気持ちになりました。



野洲小学校

地域学校協働活動